

心臓の病気とよく使う薬

神戸市立医療センター中央市民病院
薬剤部

心臓の薬でよくある質問

いつまで
飲むの？

どうしてこん
なに種類が多
いの？



まずは病気・薬を
正しく理解しましょう！！

心臓の代表的な病気とよく使うお薬について説明します

- 虚血性心疾患
- 心房細動
- 高血圧
- 心不全

虚血性心疾患とは？

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が動脈硬化によって狭くなったり詰まること。

冠動脈が狭くなって
血流が悪くなる

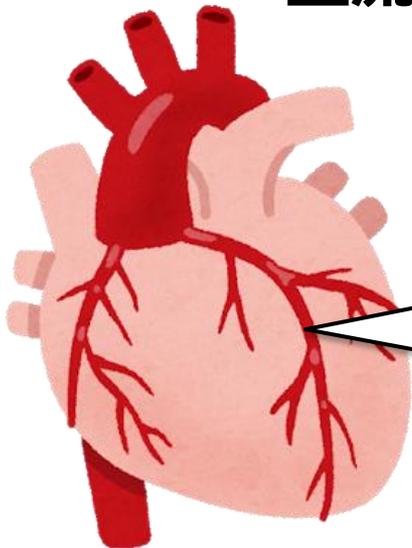


狭心症

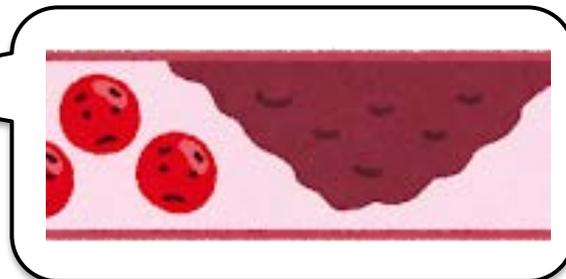
冠動脈が完全に詰まり
血流が途絶える



心筋梗塞



目標：再発を予防する！！



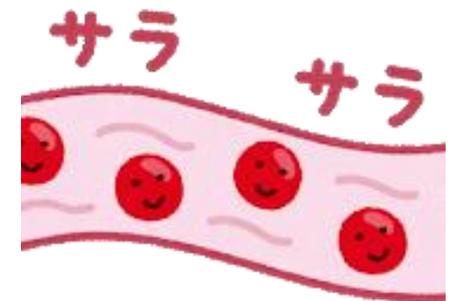
虚血性心疾患に使う薬

1. 胸痛発作を鎮める・予防する

➡ 冠動脈を広げる薬（硝酸薬、Kチャンネル開口薬）

2. 動脈硬化の進行を抑制する

➡ 生活習慣病の治療薬（スタチン）



3. 血管を詰まらないようにする

➡ 血液をサラサラにする薬（抗血小板薬）

4. 再発を予防する

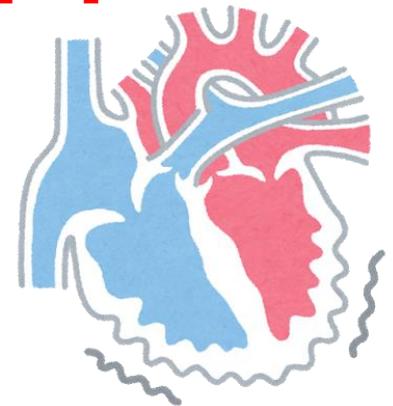
➡ 心臓を保護する薬（ β 遮断薬、ACE阻害薬/ARB）

心房細動とは？

心房といわれる心臓の部屋が小さざみに震えることで血液の流れがよどみ、血のかたまり（血栓）ができやすい不整脈です。この血栓が脳に運ばれると、脳梗塞を引き起こしてしまいます。



目標：脳梗塞を予防する！！
不整脈を抑える！！

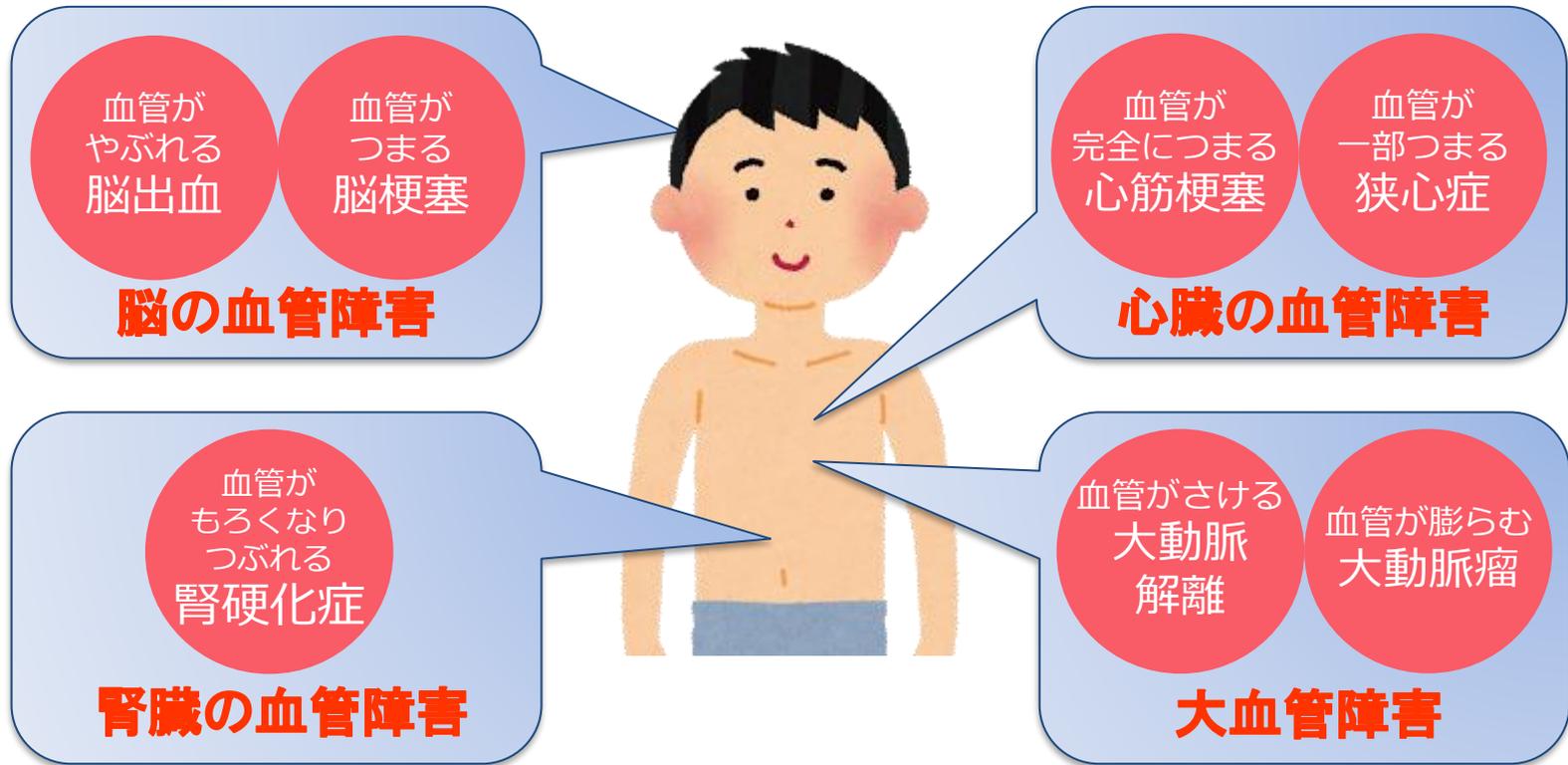


心房細動に使う薬

1. 血栓ができるのを予防する
➡ **血液をサラサラにする薬（抗凝固薬）**
2. 不整脈を抑える
➡ **脈の乱れを整える薬（抗不整脈薬）**
3. 脈が速くなりすぎるのを抑える
➡ **脈をおさえる薬（ β 遮断薬）**

高血圧とは？

安静状態での血圧が慢性的に高い状態をいいます。高血圧になると血管に常に負担がかかるため、動脈硬化を引き起こし、様々な病気に繋がります。



目標：合併症を予防する！！

高血圧に使う薬

1. 血管を広げて血圧を下げる
→ **Ca拮抗薬、 α 1遮断、ACE阻害薬、ARB**
2. 心臓の働きすぎを抑えて血圧を下げる
→ **β 遮断薬**
3. おしっこをよく出すことで血圧を下げる
→ **利尿薬**

血圧が十分に下がらない場合は
複数の薬を組み合わせることがあります



心不全とは？

心筋梗塞、高血圧、弁膜症、心筋炎などのさまざまな心臓の病気が原因となり引き起こされる状態のことをいいます。心不全では心臓のポンプ機能がうまく働かず、呼吸困難やむくみ、動悸などが起こります。一回悪くなった心臓は元に戻らないため命を縮めてしまう病気です。

※飲むべき薬を飲み忘れることでも心不全は一気に悪くなる可能性があります。

**目標：症状を緩和する！！
心臓の状態を維持する！！**



心不全に使う薬

1. 息苦しさをやむくみを改善する（症状改善）

→ **利尿薬**

2. 心臓の機能を長持ちさせる

→ **β 遮断薬、ACE阻害薬/ARB**

3. 心臓のポンプ機能を補助する

→ **強心薬**



「アドヒアランス」って知っていますか？

患者さん自身が積極的に治療に参加することを言います。

薬に関しては、治療効果を最大限に高め、副作用のリスクを軽減するためには、アドヒアランスを向上することが重要です。

その第一歩として、自分にはどうしてこの薬が必要なのかを把握しておきましょう。



Q 心臓の薬はいつまで飲むの？

◆風邪薬

→ 症状の緩和が目的。
症状が治まったら終了です。

◆心臓の薬

→ 維持・予防が目的。
しっかり**継続**することが大切です！

調子が良いからと自己判断で服用をやめてしまうと、
状態が悪化・再発し、再入院になる可能性があります

Q どうしてこんなに種類が多いの？



心臓の病気は生活習慣病と関係していることが多いです。それらをコントロールすることと心臓自体の治療のため、服用する薬の種類が増えていくことが多いです。。

が！すべて意味があり、大切な薬です！！

薬がたくさん ≠ 体に悪い

とは言え、毎日飲むのは大変！

①薬を飲むのを忘れてしまう



**飲み忘れたときの対応を
薬剤師から予め聞いておきましょう**



②薬が多い



**主治医、薬剤師と中止できる薬がないか
相談しましょう。※自己中止はダメ！！**



③一回に飲む薬の種類が多くて
管理が大変



一包化がおすすめです！



管理を助けてくれる方法があります



アプリで服用時間を
教えてもらう



服薬カレンダーを使用する

服薬のタイミング毎に
一包化してもらう

まとめ

くすりを正しく理解し、継続して服用することが大切です！自己中断や誤った使い方をすると、病気の悪化や副作用などの**リスク**になります

お薬とは上手に付き合いましょう！

疑問があれば医師・薬剤師にご相談ください

薬の一覧と主な注意点

※全ての薬が記載されているわけではありません。予めご了承ください。

β（ベータ）遮断薬

* 心拍数を減らし、血圧を下げます

アーチスト



メインテート



よく使われます！

テノーミン



セロケン



インデラル



- **心臓が長持ちする効果**も期待できます
- **少量から開始**し、体調を確認しながら少しずつ増量します
- **喘息**の既往がある方は注意（まれに発作が起こることがあります）

ACE阻害薬

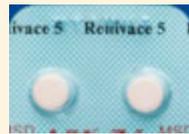
ARB

* 全身の血管を広げて血圧を下げます

コバシル



レニベース



カプトリル



タナトリル



ニューロタン



アジルバ



オルメサルタン
(オルメテック)



カンデサルタン
(プロプレス)



テルミサルタン
(ミカルディス)



イルベサルタン
(イルベタン)



バルサルタン
(ディオバン)



- **心臓や腎臓が長持ちする効果も期待できます**
- **ACE阻害薬では痰のからまない乾いた咳が出ることがあります**

Ca（カルシウム）拮抗薬 その1

* 全身の血管を広げて血圧を下げます

アダラート（カプセル/L/CR）



セパミットR



アムロジピン （アムロジン）



コニール



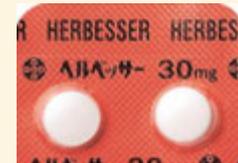
アテレック



カルブロック



ヘルベッサー （錠/Rカプセル）



グレープフルーツ（ジュースも含む）と摂取すると
効き目が強くなることがあります
（みかん・オレンジ・レモンは影響しません）

α （アルファ）遮断薬

* 全身の血管を広げて血圧を下げます

エブランチル



カルデナリン



めまいやふらつき（起立性低血圧）に注意

利尿薬

* 尿量を増やしてむくみを改善したり血圧を下げます

フロセミド
(ラシックス)



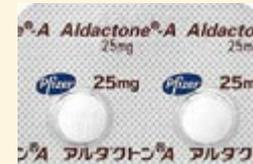
ダイアート



フルイトラン



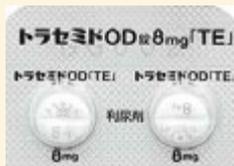
アルダクトン



サムスカ



トラセミド
(ルプラック)



ナトリックス



セララ



ミネプロ



- ・からだのミネラル（電解質）バランスが崩れることがあります
- ・アルダクトンでは女性化乳房（胸が張る、乳汁が出る）に注意

硝酸薬・K（カリウム）チャンネル開口薬

* 心臓の血管を広げて、狭心症・心筋梗塞の発作を予防します

ニトロペン



ミオコールスプレー



即効型

ニトロールR



アイトロール



ニコランジル
(シグマート)



フランドルテープ



<即効型>

- ・ **発作時に舌の下**に使用します
- ・ 5-10分毎に2回使用しても効果がない場合、
すぐに医療機関を受診してください
- ・ 頭痛、血圧低下に注意



強心薬

* 心臓のポンプ機能を助けます

カルグート



タナドーパ



ハーフジゴキシン



ラニラピッド



ピモベンダン



ジギタリス製剤では

- ・ 脈が遅くなったり速くなったりすることがあります
- ・ **食欲不振、吐き気、下痢**などが起こることがあります

抗血小板薬

- * 血小板の働きを抑え、血をサラサラにします
- * 狭心症や心筋梗塞などを予防します

バイアスピリン



タケルダ キャブピリン

※バイアスピリンと胃薬の合剤



クロピドグレル (プラビックス)



エフィエント



シロスタゾール (プレタール)



パナルジン



- ・ 2種類の薬を組み合わせて服用することがあります
- ・ **血が止まりにくい**ため怪我をしないよう注意！
- ・ **抜歯や手術**の際は前もって医師にお薬のことを伝えて下さい

抗凝固薬 その1

- * ビタミンKの働きを抑え、血をサラサラにします
- * 脳梗塞などを予防します

ワーファリン



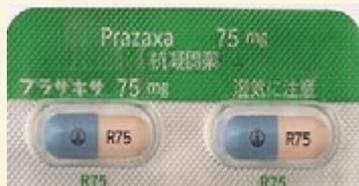
- **納豆、クロレラ、青汁（ビタミンKが豊富な食品）**は控えましょう！
（薬の効果が弱まってしまいます）
- ほかの薬との飲み合わせにも注意が必要です
- 血液検査（PT-INR）をみながら量を調節します
- **血が止まりにくいため怪我をしないよう注意！**
- **抜歯や手術**の際は前もって医師にお薬のことを伝えて下さい



抗凝固薬 その2

- * 血液を固める物質の働きを抑え、血をサラサラにします
- * 脳梗塞などを予防します

プラザキサ



イグザレルト



エリキュース



リクシアナ



- ・ 食べ物の摂取に制限はありません
- ・ **血が止まりにくい**ため怪我をしないよう注意！
- ・ **抜歯や手術**の際は前もって医師にお薬のことを伝えて下さい

スタチン

* コレステロールを下げて動脈硬化を予防します

アトルバスタチン
(リピトール)



ピタバスタチン
(リバロ)



ロスバスタチン
(クレストール)



プラバスタチン
(メバロチン)



リポバス



- ・ **筋肉痛**や**血尿**がでることがあります
- ・ **グレープフルーツ (ジュースも含む)** を摂取すると効き目が強くなることがあります
(みかん・オレンジ・レモンは影響しません)

Na（ナトリウム）チャンネル遮断薬

* 不整脈を抑えます

リスモダン



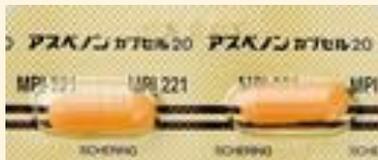
シベノール



メキシチール



アスペノン



タンボコール



サンリズム



- ・ 脈が遅くなったり速くなったりすることがあります
- ・ 一部の薬では**口の渇き**や**低血糖**に注意

Ca（カルシウム）拮抗薬 その2

- * 不整脈を抑えます
- * 狭心症の発作予防にも使います

ベプリコール



ワソラン



ヘルベッサー



- ・ 脈が遅くなったり速くなったりすることがあります
- ・ グレープフルーツ（ジュースも含む） を摂取すると効き目が強くなることがあります
(みかん・オレンジ・レモンは影響しません)

K（カリウム）チャンネル遮断薬

* 不整脈を抑えます

アミオダロン
(アンカロン)



ソタコール



- ・ 脈が遅くなったり速くなったりすることがあります
- ・ アミオダロンでは**間質性肺炎**や**甲状腺機能異常**に注意

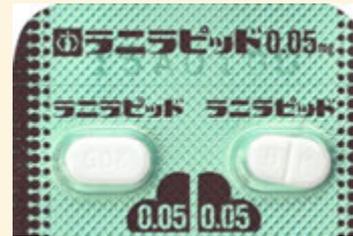
ジギタリス製剤

- * 不整脈を抑えます
- * 心不全にも使うことがあります

ハーフジゴキシン



ラニラピッド



- ・ 脈が遅くなったり速くなったりすることがあります
- ・ **食欲不振、吐き気、下痢**などが起こることがあります